

会長挨拶	会長就任にあたって	井田茂	348
特集：光赤外位置天文学 (3)			
	JASMINE: 赤外線位置・測光天文観測衛星	郷田直輝	350
	固有運動の加速に着目した巨大惑星と褐色矮星伴星の直接撮像	葛原昌幸	360
	アストロメトリ法による系外惑星発見前夜	福井暁彦	369
シリーズ：天文学者たちの昭和			
	佐藤文隆氏ロングインタビュー 第4回：助手時代	高橋慶太郎	376
シリーズ：海外の研究室から			
	第3回 タイ王国の電波天文学・測地学プロジェクトと私 NARIT: National Astronomical Research Institute of Thailand (Public Organization)	杉山孝一郎	389
雑報			
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>IAU symposia375: The Multimessenger Chakra of Blazar Jets</i>	今澤遼	393
月報だより			395

#### 【表紙画像説明】

JASMINE 衛星の上部（ミッション部）に望遠鏡や赤外線カメラが搭載される。衛星下部（バス部）のボックスには衛星通信、姿勢制御、推進、熱制御といった衛星の基本的な機能を担う装置が搭載される。衛星の総重量は 600 kg 程度、高度 550 km 以上の太陽同期軌道にイプシロン S ロケットを用いて打上げられる予定である。運用期間のうち、春・秋は銀河系中心核領域方向の位置天文観測を行い、中心核領域方向の観測に適さない夏・冬はトランジット観測による系外惑星探査を行う。© 国立天文台

#### 【今月の表紙デザイン】

「木星」

流星の嵐が過ぎた夜、探査機から修理完了の報告が届いた。

回収したディスクの一部は破損していたが、何とか新しいデータを得ることができた。

新しく発見した星は外層が気体に覆われ、深い霧でできているようだ。